

## 2019年度 我が校の学ぶ力向上策(実施計画)

## 【市町 目標】

- 発展的な課題に挑む力の育成(Activ)
- 基礎学力の確実な定着(Adaptive)
- 粘り強く取り組む子どもの育成(Assistive)

## 【学校 目標】

- 主体的に課題に取り組み、考えをまとめ、伝える力の育成
- いきいきと交流し、考えを深め合うための道徳科を中心とした授業づくり
- 明日の授業につながる家庭学習の充実

## 【現状と課題】

○昨年度の全国学力学習状況調査の結果から、課題解決に向けて自分の考えをまとめたり、目的や相手に応じて内容の中心を適切に伝えたりすることに弱さが見られた。主体的に課題に取り組み、考えをまとめたり、伝えたりする力の育成が課題である。

○校内研究では、道徳科を窓口に「何について考えさせるのか」というねらいを明確に持ち、一人一人の見取りを大切に授業づくりを行ってきた。今後はどの子どもも主体的に学習に参加し、考えを深め合う姿をめざした授業改善が課題である。

○「家庭学習が学校で学習したことの復習や予習になっているという自覚が低い」という昨年度の全国学力学習状況調査質問紙の結果を踏まえ、家庭学習の内容や取り組み方を見直してきた。授業の予習や復習であることを意識した「明日の授業につながる家庭学習」の共通実践や家庭との連携が課題である。

## 取 組

視点1	視点2	視点3
学びを実感できる授業づくり	学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	子どものために一丸となって取り組む学校づくり
<b>【取組事項】</b> ○「いきいき学ぼう☆学びのステップ」(草津型アクティブ・ラーニング)の共通実践 ○めあてや課題に応じた「ふり返りタイム5分間」の共通実践 ○「夢チャレンジ」(学年に応じた基礎基本となる学習内容の定着のための取組)の実践	<b>【取組事項】</b> ○「笠っ子のくらし10か条」(学習規律や生活習慣定着のための約束)の共通実践 ○あいさつプロジェクト実行委員会を中心とした「笑顔であいさつ日本一」の取組	<b>【取組事項】</b> ○いきいきと交流し、考えを深め合う子どもの姿をめざし、みんなが参加する道徳科の授業づくりをテーマとした校内研究の取組 ○明日の授業につながる家庭学習の共通実践ならびに「家庭学習の手引」による家庭との連携

その他 取組事項

## 取組の評価

	取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
全体	①児童対象生活調べ「自分の考えを話したり、書いたりしてまわりの人に伝えていきます」の肯定的な回答の割合	①H30年度83.5%→85%以上		
視点1	①「学びのステップ」を1日に1授業以上活用している授業の割合 ②「ふり返りタイム5分間」を1日に1授業以上で実施している授業の割合	①85%以上 ②85%以上		
視点2	①児童対象生活調べ「学校のきまりを守っています」の肯定的な回答の割合 ②児童対象生活調べ「進んであいさつしています」の肯定的な回答の割合	①H30年度94.4%→95%以上 ②H30年度86.3%→90%以上		
視点3	①「学習課題を明確にして学習指導を行っている」授業の割合 ②「道徳科の授業では本時の学習課題に迫れるような発問を工夫している」学級担任の割合 ③「家庭学習として授業の予習になる宿題を出している」学級担任の割合	①90%以上 ②85%以上 ③85%以上		

評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上89%未満→B 70%未満→C 時期→1回目9月 2回目2月】

今年度の課題	次年度への対応策